

村高マスコットキャラクター

ものしり博士 ガイドブック vol.1

- 【発行日】 2018 (平成30) 年3月20日 初版
【発行】 兵庫県立村岡高等学校
〒667-1311 兵庫県美方郡香美町村岡区村岡2931
☎0796-94-0201
- 【監修】 鳥取大学地域学部
【協力】 香美町地域おこし協力隊 岡崎絵里奈
鳥取大学地域学部地域教育学科
井上航太 大國真衣 河村直哉
河本知佳 澤田葉月 吉岡優佳
- 【デザイン・印刷】 スタジオK1
【スタッフ】 兵庫県立村岡高等学校第56期生
《地域アウトドアスポーツ類型地域創造系》
宇佐見紗也 西垣和真 西崎志穂美 西田すず乃
藤村美瑛 上田美沙生 倉田颯人 小谷俊介
坂本舜 澤田海大 田中和磨 西井友基 西谷世菜

香美町ふるさと ものしり博士

ガイドブック vol.1



発行 兵庫県立村岡高等学校
監修 鳥取大学地域学部

目次

はじめに

ものしり博士紹介

前田 敏 (小代)	但馬牛、小代から全国へ！	2
増田時雄 (小代)	自分の力で最高のスッポン・チョウザメを！	4
西谷正之 (兎塚)	木彫で想像力を豊かに！	6
森井勇希 (村岡)	自然あつてのアウトドア活動	8
西田昭夫 (兎塚)	兵庫の川の生き物研究者	10
西村 寿 (兎塚)	猿尾滝の名物観光ガイド	12
田中誉人 (小代)	楽しさは学ぶ力	14
田中昭喜 (村岡)	村岡の歴史ならおまかせ	16
山本貴美子(小代)	おやつでみんなの元気をつくる	18
岡田政和 (村岡)	山の案内人を目指して	20
西村吉雄 (兎塚)	ハチ北スキー場の生みの親	22
岸本文枝 (射添)	東京から香美町へ～香美町の自然にはまる～	24
中村康子 (兎塚)	カメムシしらべて13年	26
毛戸公彦 (小代)	但馬牛はふるさとの誇り！	28
本多秋香 (射添)	長須和紙の魅力発信へ！	30
井上克己 (小代)	古代の小代を体験しよう！	32

ものしり博士を活用した授業実践例

①自然	「水生昆虫調査」西田昭夫先生	34
②伝統・歴史	「射添和紙づくり」本多秋香先生	35
③食育	「但馬牛の過去・現在・未来」毛戸公彦先生	36

編集後記

本誌の見方 (p2~p33)

子ども用ポスター

☆子どもたちが見て、興味のあるものしり博士の所へ、気軽に行けるように作成しました！



大人用解説

☆ものしり博士の解説です。ものしり博士の情報と魅力、子どもたちへの思いを書いています。ふるさと教育に役立てられるようにしました！

はじめに

兵庫県立村岡高等学校
校長 若浦直樹



この冊子は、本校地域創造系第56期生が「ふるさと教育プロジェクト」を推進し、ものしり博士に学んだことを授業に活かし、人づくりを進めていくことを目的として作成されたものです。

私自身、村岡に来て感じたことは、自然の良さは勿論、歴史の重みを感じるところがたくさんあるということ、さらには実直な方が多く人に優しいということでした。そしてまだまだ学び足りない部分があり、村岡の奥の深さに驚くと同時に今後も学び続けなければと思っています。

生徒達は、そういった奥の深さをものしり博士に教えていただき、自分の住んでいるところに興味関心を持ち、それを伝えていきたいとの思いがわき起こり、冊子にしました。

村岡高校では、この思いのたくさん詰まったこの冊子を利用して、多くの方々にもっと村岡を知っていただき、その良さを伝えていきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

ふるさと教育プロジェクト

～ものしり博士を活用したふるさと教育づくり～

香美町教育委員会は「町づくりは人づくり」を基として、町の活性化を視野に入れつつ、「ふるさとに学び、夢や志を抱き、ふるさとを大切に作る人づくり」を基本目標に取り組みを進めています。なかでも、「国際社会で主体的に生きるため、自分自身の基盤となる地域の理解を深め、尊重する態度や豊かな文化の継承・創造に寄与する態度を育てる」ことに主眼を置き、「ふるさと教育の充実」を掲げています。



今回、私たちは「ふるさともものしり博士」の取材を通して、地域人材を活かした授業づくりの一助となるべく「ふるさと教育プロジェクト」に取り組みました。

兵庫県立村岡高等学校第56期
地域アウトドアスポーツ類型地域創造系



たじまうし おじろ ぜんこく
但馬牛、小代から全国へ!

まえだ さとし
前田 敏さん

わたし せんぞ
私のじまんの先祖
まえだ しゅうすけ はなし
前田周助のお話を
します!



まえだ しゅうすけ
前田周助さんについて

たじまうし たねうし つく ひと
但馬牛のものと種牛を作った人

うし か じぶん
○よい牛を飼うのは自分のため

ひと
じゃなくて人のためだったよ

うし つく わ
○よい牛を作ってみんなに分けて、

せいかつ らく
みんなの生活が楽になるように

おも つよ
という思いが強かったよ

はかせ
ものしり博士からみんなへ

たじまうし ぜんこく うし
○但馬牛が全国の牛のもとに

なっているという自慢できる

ちしきをも
知しきを持ってほしい!

じぶん おも
○自分がやりたいと思うことを

いっしょうけんめい おも
一生懸命したらいいと思うよ!

とかい で おじろ か みちよう
○都会に出ても、小代や香美町

のこを思いながら働いてね!

【解説 ものしり博士】

前田敏さん

○ジャンル

歴史＝前田周助と小代牛

○プロフィール

- ・昔は美方町役場で勤務
- ・現在は農業をしている（トマトやピーマンなどの野菜の栽培）
- ・昔は絵を描いていた

○ものしり博士の活動

- ・現在の但馬牛のルーツをつくった、先祖前田周助の語り部
- ・家系図など貴重な資料をもとにした具体的な解説

○ものしり博士の思い

前田周助さんは、但馬牛の元になる種牛を作った人です。おいしい肉を作るためではなく、「よく働き、病気せず、毎年赤ちゃんを産む牛」を求めています。牛は毎年赤ちゃんを産みますが、休む時もあります。休んだ年は地主が損をするので、毎年赤ちゃんを産むような牛作りをしました。また、血統の良い牛にするために借金をしてまで遠いところまで行きました。良い牛を作ってみんなに分け与え、みんなの生活が楽になるようにという思いが強かったそうです。良い牛を飼うのは、自分のためではなく人のためでした。

また、小代や村岡には良い牛がいると言われていますが、ニュースに出るような有名なブランド牛の名前に小代や村岡の名前が出てきません。出てくるのは、但馬牛や神戸牛という名前ばかりです。小代の牛や村岡の牛というのではなく但馬の牛…但馬牛とひとくくりになり今では全国有数のブランド牛になっています。その種牛を作った前田周助さんがどういう思いで牛を育てたかということをお自分たちで学び、それを自分の知識として持っていてほしいです。

○前田さんが子どもたちに伝えたいこと

但馬牛が全国の牛のもとになっていることを知ってもらいたいです。今、飛騨牛や近江牛、佐賀牛など有名な肉がありますが、その元になっているのが前田周助さんの作った牛です。田舎でもこんなにみんなのことを考えて、良い牛作りをした先人がいます。この先人のおかげでたくさんの人々が今も喜んでいて、そのことを誇りに思いこの先都会に出ても小代や香美町のことを思いながら自分がやりたいことを一生懸命してください。

連絡先

香美町小代区水間
☎ 0796-97-2019(自宅)



自分の力で最高のスッポン・チョウザメを！

ますだ ときお
増田 時雄さん

こんなことやってるよ！

- ・スッポンやチョウザメの
養殖ようしよくをしているよ！
- ・養殖したもので商品開発しょうひん かいぱつ
- ・水産科の高校すいせん か こうこう べんきょうに勉強を
教えおしにしているんだ！

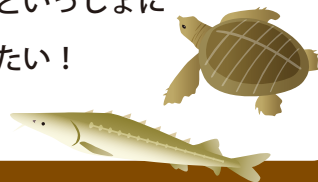


これがチョウザメだよ！
ぜひ見みにきてね

ものしり博士はかせからみんなへ

もっと若い人わか ひとたちにスッポンや
チョウザメようしよく きょうみの養殖に興味を持っ
てほしい。

そのためにも子どもたちにもっと
ふれあう時間じかんをふやしたい！
若い人たちといっしょに
お仕事しごとをしたい！



【解説 ものしり博士】

増田時雄さん

○ジャンル

地元産業＝スッポン・チョウザメ

○プロフィール

- ・元々は小代で飲食店を経営
- ・今ではスッポン・チョウザメの養殖
- ・スッポン・チョウザメを用いた商品開発

○ものしり博士の活動

主な活動内容として、スッポン・チョウザメの養殖、スッポン・チョウザメを使った新商品の開発、水産科の高校でチョウザメの卵の作り方の教授などがあります。増田さんはスッポン・チョウザメをより多くの人に知ってもらうために、たくさん努力しています。今取り組んでいることの1つが、優れたスッポン・チョウザメの養殖です。これは増田さんが一番悩んでいることでもあり、挑戦していることでもあります。例えば、優れたスッポンを作ろうと思えば、しっかり餌を食わせてプリンプリンに太らせる必要があります。今はビニールハウスの中でスッポンを育てていますが、健康で良い色のスッポンにしようとする、直射日光が当たるような池で育てなければなりません。このように、スッポンとチョウザメの養殖は細かいことにも気を使い、育てていかなければなりません。また、増田さんは現在、四角形の池で養殖を行っていますが、将来は円形の池にしたいと考えています。円形の池にすることで排水がよくなり、きれいな水の環境や運動量の増加も見込めます。このように、スッポン・チョウザメを養殖するという事は、多くの準備や努力が必要です。

○小学生向けのふるさと教育

地元の特産品であるスッポン・チョウザメのことを知るとい、小学生の地域調査の対象にもなっています。地元の産業を知るといことで、スッポン・チョウザメのことを詳しく教えてもらったり、すぐ近くで見学したりすることができます。名前は聞いたことはあっても、実際に見たことはないという小学生もたくさんいると思います。だから、自分の地元にはこんな産業があるということを知ることができ、養殖の楽しさや大変さを通して働くことの意義や生きがいについて学習することができます。そうすることで、地元を誇りに思い、スッポン・チョウザメに興味を持ってもらうことができるのではないのでしょうか。この町ならではの体験が期待できます。

連絡先

小代内水面組合
(香美町小代区神水)
☎ 0796-97-3125



きぼり そろりよく ゆた
木彫で想像力を豊かに!
 にしたに まさゆき
西谷 正之さん



きぼり
ぜひ木彫を
 してみてください!



こんなことやってるよ!

とよおか きぼり きょうしつ さんか せいと いっしょ きぼり
 豊岡の木彫教室に参加し、その生徒さんと一緒に木彫をしています。
 おも どうぶつ ほ どうぐ ちょうこくとう つか ほ
 主に動物を彫っています。道具は彫刻刀やのみなどを使って彫っています。
 にしたに いっしょ きぼり
 みんなも西谷さんと一緒に木彫をしてみよう!!



【解説 ものしり博士】

西谷正之さん

連絡先
 香美町村岡区福岡
 ☎ 0796-96-0352 (自宅)

○**ジャンル**

自然＝木彫

○**プロフィール**

- ・ 出身は福岡区
- ・ 小中学校は福岡の学校、高校は村岡高校
- ・ 卒業後、大阪の郵便局で、のちに福岡の郵便局で勤務
- ・ 定年退職してからはスポーツクラブ21の活動など多種多様な活動をされている

○**ものしり博士の魅力(活用方法)**

西谷さんは一度村岡を離れて働いていたことがあり、定年してからはスポーツクラブ21などのスポーツ活動に参加し、いろんな経験が豊富です。西谷さんに木彫を教えるもらうことで、様々な経験談を聞きながら楽しんで活動することができます。また、自分たちの身近にある木から木彫をすることで地域の魅力を見つけたり、木彫に必要な高い集中力、創造性を身につけたりすることができます。

○**子どもたちに伝えたいこと**

いろんなことに興味を持ってほしいと西谷さんは話します。いろんなことに興味を持つことによって、そのことを調べて話題を多く持てることになり、社会に出て人間関係を形成しやすくなります。また、自分の世界だけでなく他者と交流することで新しい世界を切り開いてほしいとも思っています。少子化によって昔と比べて他学年の人たちと交流することが減り、現代の子どもたちのコミュニケーション能力が低下しています。そこで、相手の長所を見つける能力を身につけて集団の中でもうまくやってほしいです。そして一番伝えたいことは、自分の周りの友人や家族など、自分にとって唯一無二の存在を大切にしてほしいということです。



自然あつてのアウトドア活動！ 森井 勇希さん



しぜん まも だいじ
自然を守っていくことが大事！



クライミング

こんなことやってるよ！

- 村岡高校の卒業生だよ！
- 子どもたちのアウトドア活動のサポートをしているよ！
(ボルダリング、クライミング、カヌー、登山ガイドなど)
- アウトドア用品を売る仕事をしているよ！
小学生ボルダリング教室



小学生ボルダリング教室

ものしり博士からみんなへ

- 「自然を守っていくこと」が大切！
- 「自分の住んでいるところには、たくさんの自然がある。
でもこれは誰かが守ってくれた。」ということに気付いてほしい！



【解説 ものしり博士】

森井勇希さん

連絡先

香美町村岡区村岡
☎ 0796-94-0433

○ジャンル

スポーツ＝自然を活かしたアウトドア活動

○プロフィール

- ボルダリング、クライミング、カヌー、登山ガイド
- 様々なアウトドア用品の販売
- 氷ノ山をメインに、小学生の自然学校の登山体験の引率

○ものしり博士の活動

但馬の自然を活かしたアウトドア活動を行っています。ボルダリングやマウンテンバイク、カヌーなどのアウトドア活動の支援をしています。森井さんは、その中でも一貫性のあるアウトドアを目指しています。例えば、海から山へ逆の流れで、海をカヤックで漕いで、山のふもとまでは自転車で走って、山の頂上まで自分の足で歩いて行くというようなイベントの企画にチャレンジしています。

○子どもたちへの思い

自分たちがいるフィールドというものをもう一回ちゃんと見直して、これは普通ではないということに気付いてほしい。ただ自然を相手にして遊ぶ単純なものでも、いつかそういった目線で「自分たちが住んでいるところにはこういう自然がある、でもこれは誰かが守ってくれたんだ」という視点に気付いてほしい。

○ものしり博士の思い

香美町のような田舎でアウトドアスポーツをすることにあたって、自然というのはただ単にそこにあるのではなく、人の手が入らないとアウトドア自体が成り立ちません。アウトドア活動を続けるためには、自然を持続させる人材の育成が必要であると思います。アウトドアを楽しむ面も大切ですが、アウトドアや自然を管理する面も同じくらいの力量でやっていく必要があります。若い子が少なくなっていく地域でアウトドアを発展させていくためには、自然を守っていくということも視野に入れてやってほしいです。それがこの地域の活性化にもつながると思います。



ひょうご かわ い もの けんきゅう しや
兵庫の川の生き物研究者

にしだ あきお
西田 昭夫さん

かわ いきもの
川の生物なら
なん し
何でも知ってます！

こんなことやってるよ！

ひょうごけん かわ い もの ねん
兵庫県の川の生き物を3,4年かけて
けんきゅう ずかん つく
研究し図鑑を作ったよ！

さとうえん いけ す
コウノトリの郷公園にある池に住む
い もの けんきゅう さっし
生き物を研究して冊子でのこしたよ！

ぶんぶ ねんほど
ヒゲナガカワトビケラの分布を2年程
けんきゅう こうちけん かわ
かけて研究した高知県の川との
ちが
違いをしらべたよ！



はかせ ものしり博士からみんなへ

す み つつ
好きなことを見つけてそれを続けてほしい。

そと で しぜん した
外に出て自然に親しんでほしい。

かせき み おもしろ かん
化石などを見て面白いと感じてほしい。



【解説 ものしり博士】

西田昭夫さん

○ジャンル

自然＝水生昆虫の生活史と生態

○プロフィール

- ・川に住んでいる水生生物の研究
- ・小学生と一緒に昆陽川と湯舟川の調査（夏休み）

○ものしり博士の活動

- ・兵庫県の川の水生生物を3～4年かけて研究、図鑑の作成
- ・ヒゲナガカワトビケラの分布を研究
→兵庫県の川と高知県の川との違いを調査
- ・現在はエグリトビケラの研究
→エグリトビケラの環境との関わりを研究
- ・コウノトリの郷公園にある池に住む水生生物の調査、冊子作成
- ・夏休みに地域の小学生たちとともに水生生物の調査、観察

○ものしり博士の魅力(活用方法)

西田さんは子どもが好きで、小学生を対象とした水生昆虫調査をしています。何か気になる生き物を発見したら、生息地やその生き物のことを図鑑が作れるくらい何年もかけて研究する、とても根気強い方です。優しい方なので、川のことなどで何か疑問があったら連絡してみてください。

小学生の理科の授業で、川に住む生き物など川に関することが出てきた時は、西田さんに授業をしてもらえばわかりやすく教えてくれます。

○子供たちに伝えたいこと

水生生物の研究が好きで西田さんが、子供たちに伝えたいことは3つあります。1つ目は好きなことを見つけ、それを継続して欲しいということです。これは、西田さんのように自分の好きなことを見つけ、継続することで何か目標を持てるからです。2つ目は外に出て自然に親しんでほしいということです。今の子供たちは家でゲームやテレビばかり見ている、外で遊ぶことが減ってきているからです。3つ目は化石などを見て面白いと感じてほしいということです。これは、最近の子供たちは化石など自然の物に興味がなくなっているからです。

連絡先

香美町村岡区日影
☎ 0796-96-0180(自宅)



さるお だき めいぶつ かんこう
猿尾滝の名物観光ガイド

にしむら ひさし
西村 寿さん

ひかげ みりょく おし
日影の魅力を教えるよ！
たの しく 聞いてもらえるように、
くふう 工夫しています、気軽に来てね



さるおだき おだき
猿尾滝の「雄滝」

にしむら
※西村さんはガイドがうまくて
ひょうごめいぶつ にんてい
兵庫名物ガイドに認定されているよ！

こんなことやってるよ！

さるおだき
猿尾滝のガイドをしながら、

ひかげ みりょく つた
日影の魅力を伝えています。

まいにち か さるおだき
毎日欠かさず猿尾滝のそうじ

をしています。

がいこく かた あんない
外国の方も案内できるように

えいご
英語でもガイドしています。

はなし じょうだん い
話をしながら冗談を言ったり

てじな たの
手品をしたりして、楽しく

き
聞いてもらえるようにして

います。

【解説 ものしり博士】

西村寿さん

○ジャンル

自然・観光＝猿尾滝の観光案内

○プロフィール

- ・地元愛にあふれる方
- ・元教員で話し上手
- ・ガイドの合間に手品などして楽しませてもらえる

○ものしり博士の活動

- ・現役で猿尾滝のガイド
- ・日々ガイドの道を究めるため努力している
- ・外国人観光客のために英語でのガイドをはじめ
- ・猿尾滝だけでなく日影地区のことにも詳しい

○学べること

- ・猿尾滝の魅力を詳しく学ぶことができる
(猿尾滝を楽しんで見る方法、全国滝百選に選ばれた秘訣など)
- ・日影地区の魅力も詳しく学ぶことができる
(天満威徳神社や巨大ヒノキ、日影の行事、歴史など)

○ものしり博士の思い

日課は猿尾滝の掃除で、観光客の人たちにきれいな猿尾滝を見てもらえるよう頑張っています。地元の子どもたちに日影の魅力を伝え、地元に興味を持ってもらうため、地元の行事でお菓子を配ったり、紙芝居などをしたりしてきっかけづくりをしています。結果、地元で行っている行事のほとんどに子どもが参加しており、地元に関心を持つことにつながっています。

○ものしり博士の魅力

西村寿さんにインタビューを行って、「地元の良さを後世に伝えたい」という思いが強く感じられました。また短い時間でしたが、「日影にはこんなに魅力があったのか」と気づかされるぐらい多くの日影の魅力を教えていただきました。西村さんは「他の地区にももっとアピールしたほうがいい魅力はある」と言っておられました。西村さん自身、人と話すことがお好きな方で、質問など聞きたいことがある人が来られることを喜ばれるので、ぜひ自分たちの地区の魅力を発信したいと考えられている方は、西村さんの話を聞きにいらしてください。よい話が聞けるとおもいます。

連絡先

香美町村岡観光協会
(香美町村岡区村岡)
☎ 0796-94-0123



たの まな ちから
楽しさは学ぶ力
 たなか たかひと
田中 誉人さん

ふだん たいけん
**普段は体験できない
 アウトドアスポーツを！**

ほかせ
ものしり博士からみんなへ

- たの まな ちから
 ・「楽しさは学ぶ力」
- たの つづ
 楽しければ、どんなことでも続けて
 いけるので、「楽しいと思える学び方」
- じぶん かんが
 を自分たちで考えてほしい！
- かみちょう しぜん す
 ・香美町の自然を好きに
 なってほしい！

かつどう ようす
活動の様子だよ！



ツリーイング



ゆきあそび



みんなで記念写真！

こんなことをしているよ

- みかた こうげん しぜん いえ
 ・美方高原自然の家
- むら しょちょう
 とちのき村の所長さん
- かく てつだ
 ・学Pのお手伝い
- たいけん
 ・アウトドアスポーツ体験
- しぜん たいけん
 ・自然体験
- ゆき がっせん たいかい
 ・雪合戦の大会

【解説 ものしり博士】

田中誉人さん

○ジャンル
 スポーツ＝アウトドア・レクリエーション

○プロフィール
 ・尼崎市立美方高原自然の家所長
 ・ものしり博士の制度ができたときからものしり博士
 ・香美町の自然を好きになってもらいたいという思いから博士に
 ・座右の銘は「楽しさは学ぶ力」

○ものしり博士の活動

- ・「兵庫県雪合戦大会」を企画、運営をしている（15年以上）
 この大会には一般、レディース、小学生が参加するジュニアの3部門があり、地元の小学生はチームを組んで参加しています。香美町、特に村岡、小代はスキーが盛んな地域ですが、みんながみんな上手く滑ることができるというわけではありません。しかし、雪合戦であれば、スキーよりも手軽に、得意な人と苦手な人の差をあまり感じずに楽しむことができます。
- ・学級PTA行事などの体験の場を作る
 「こういった体験をしたい」と要望があればプログラムを用意します。ツリーイング、沢登り、スノーシューハイキングから野外料理まで様々な体験ができます。この他にも、季節に合わせた自然体験が目白押しです。是非、学Pや校外学習に活用してみてください。もちろん親子も大歓迎です。体で美方を感じましょう！

○ものしり博士の思い

田中さんは、「美方高原に来てもらった際には、『楽しい』だけを追求するのではなく、自然を好きになってもらう、動物のことを少しでも知ってもらう、一緒に活動する仲間のことにも好きになってもらう。そういう、今までと違った新しい価値観を持って帰ってほしい。」という思いを胸に、その価値観を伝えるための様々な仕掛けをしています。「これをやってください！」と言うと押し付けになり、押し付けになればだれでもいやな気持ちになるので、どうしたらその人たちが楽しみながら学んでくれるかを考えながら、「面白いと思える工夫」を施しています。

田中さんの座右の銘は「楽しさは学ぶ力」です。楽しければどんなことでも続けていけるので、「楽しいと思える学び方」を自分たちで考えてほしい、楽しく学んでほしいと田中さんは語ります。このような考えのもとで活動されている田中さんに学べば、きっと子どもたちは、楽しく新しい価値観を見出すことができるでしょう。

連絡先

美方高原自然の家
 (香美町小代区新屋)
 ☎ 0796-97-3602



村岡の歴史ならおまかせ!

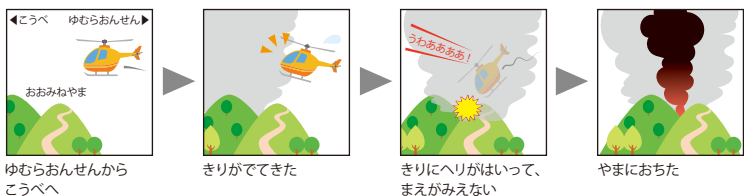
田中 昭喜さん

おもしろいものが
たくさんあるよ!

こんなことしてるよ!

- ・「ふるさと用野」という写真集を作ったよ
- ・相岡でのヘリ墜落事故のまとめをしたよ
- ・「軍師官兵衛」のお話をする会で先生をしたよ
- ・村岡の牛のせり市や牛との昔の暮らしのビデオを作ったよ

ヘリついでらくじこ



うしのビデオ

牛市ってなに?



はかせからみんなへ

かみ町から出ていくのをやめてほしい!

村岡のれきしを知って村岡をたのしんでほしい!

ほんもの本物のビデオははく力いっぱい!
牛が大すきになっちゃうかも・・・?

クイズ

たじまうしのこうしはだいたいどれくらいのおかねでうれるでしょうか?

※こたえはみぎのページ

【解説 ものしり博士】

田中昭喜さん

○ジャンル

歴史＝村岡の歴史

○プロフィール

- ・用野区の元区長（区内の用水路や道路の整備）
- ・「ふるさと用野」という写真集の作成
- ・キクづくりもしている

○ものしり博士の活動

・相岡でのヘリ墜落事故のまとめを行う

1991年の8月に、湯村温泉のヘリポートを飛び立った、阪急航空のヘリが、大峰山に墜落し8人が亡くなったというヘリ墜落事故についてまとめています。この事故についてはインターネットにもあまり情報がのっておらず、このヘリ墜落事故についての詳しい情報は田中さんのもとにしかありません。

・「軍師黒田官兵衛」と兎塚との関わりの語り部

NHKの大河ドラマ「軍師官兵衛」を機にとっても有名になった黒田官兵衛。彼と兎塚の黒田には関わりがありました。田中さんは黒田出身ということで「軍師官兵衛」の講義の講師を務めました。

・昔の村岡の牛のせり市や牛の生活をビデオにおさめる

ビデオの内容は、昔行われていた牛を使った田んぼ仕事についてや昔の湯村で開かれていた「牛のせり市」の様子です。昔の牛の生活の映像となっているので、じかに昔の生活風景が見られ、貴重な体験になると思います。

○ものしり博士の思い

昔は親が家を絶やさないように農業などを子供に継がせようとしてきました。しかし、今の時代では農業などで生活していくのは難しいことです。もし、村岡で職に就こうと思っても職がなかったり、あってもその人が高学歴であればそれに見合うお給料を払えないという理由で職に就けないこともあります。でも、村岡には魅力的な場所や歴史、特産物がたくさんあるので出ていかなければいいです。

○子どもたちへの思い

若い人が香美町を出ていくのを止めてほしいです。しかし、可能な範囲でいうなら、香美町の歴史を参考資料としてただ知ってほしいです。そして、歴史を学んで今の村岡に対応して行ってほしいです。

連絡先

香美町村岡区用野
☎ 0796-94-0130(自宅)



げんき おやつでみんなの元気をつくる！



いなか
田舎のおやつ
してる？

やまもと きみこ
山本 貴美子さん



とちのみ



かきもちがパリッパリにやいたおもち！

はかせ ものしり博士からみんなへ

むかしからあるかきもちなどの

おやつは安全で安心できる食べ物。

むだなものを使っていないからから

だにいいし、みんなの元気のもとに

なるから、作り方をしてほしいな。



こんなことをしているよ

とちのみを山からひろって、にがみを

ぬいたりしてから、とちもちをつくっているよ。

昔から秋岡に伝わるおいしいとちもちの

つくりかたをみんなに教えるために、こども

たちといっしょにとちもちやかきもちを作っ

ているんだって！

「どうしたらたのしくとちもちが作れるかな？」

「こうしたらもっとおいしいかな？」

と考えながらつくっているよ。

【解説 ものしり博士】

山本貴美子さん

○ジャンル

食育＝とち餅の加工、農産物の加工

○プロフィール

・以前は保育士として働いていた

○ものしり博士の活動

・小代の秋岡地区で「やってみよう会」の会員として活動
・子どもたちと一緒に昔から伝わるおやつを作り、その作り方を教えている

○ものしり博士の魅力(活用方法)

子どもと接することが好きで、活動の時には常に子どもたちがどんな表情をしているか、どんなことを話しているのかに目を配っています。山本さんとの活動を通して、人の温かさや、昔から伝わるおやつの温かさを感じ、自然由来の食べ物について学ぶことができます。

また、とちの実を集めるところから指導してもらい、とちの実のあく抜きなどの処理や、粉に加工するところなど、とち餅を作るすべての工程を自分たちでやることで、食べ物を食べることができることへの感謝の気持ちを伝えることができます。

○子どもたちへの思いなど

自分の住む地域に伝わるおやつをたくさん食べてほしいです。昔から伝わるお餅やかき餅などのおやつは保存料や着色料などの食品添加物を使わず、安全で、安心できる食べ物です。無駄なものを使っていないから身体に優しく、自分の手で作る楽しさや温かさが子どもたちの元気のもとになります。

そんなおやつと一緒に作り、その作り方を覚えてほしいと考えています。とち餅の材料の配合の仕方は、地区によって、家によって違うもので、苦みや甘みの強さが違います。山本さんは、昔から秋岡に伝わるお餅のおいしい配合率を伝えたいと考え、子どもたちと一緒にとちもちを作っているそうです。

連絡先

香美町小代区秋岡

☎ 0796-97-3966

(小代区地域連携センター)



やま あんないにん めざ
山の案内人を目指して

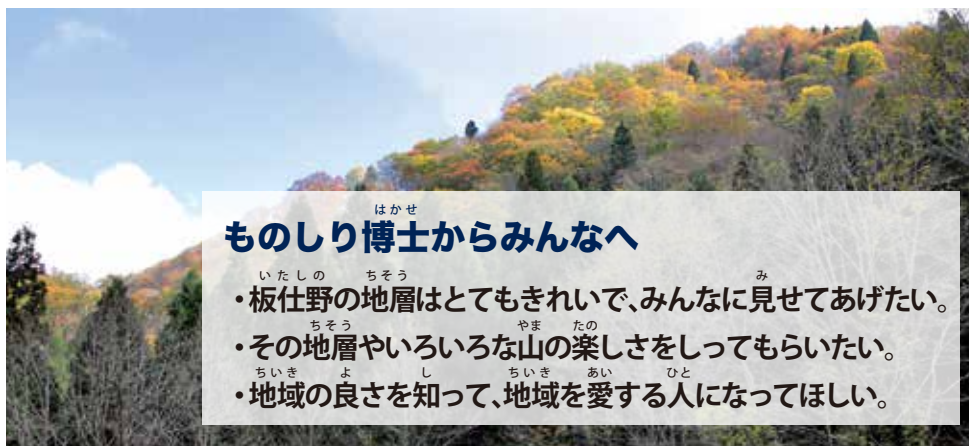
おかだ まさかず
岡田 政和さん



ちいき
この地域について
おし ひと
教えられる人になりたい！

こんなことをやってるよ！

- この地域について教えられるような人になりたいと思うようになったよ！
- 今はとろかわ溪谷を中心とする山のジオパークの案内人をめざしているよ！
- 小学生と中学生と一緒にひまわりを植えたり、バーベキューをしたりしています。



はかせ
ものしり博士からみんなへ

- 板仕野の地層はとてもきれいで、みんなに見せてあげたい。
- その地層やいろいろな山の楽しさを知ってもらいたい。
- 地域の良さを知って、地域を愛する人になってほしい。

【解説 ものしり博士】

岡田政和さん

連絡先

香美町村岡区板仕野
☎ 0796-94-0622 (自宅)

○ジャンル

自然・観光=自然薯づくり

○プロフィール

- 昔は農業とは全く無関係のことをやっていた
- もともと住んでいた板仕野に帰ってきて農業をやり始めた
- 地域の子もたちに地域の自然について伝えている
- 瀬川溪谷を中心とした山のジオパークの案内人として活動を始めようと町に申請している

○ものしり博士の活動

- 子どもたちと将来の村岡について考える
例：子どもたちの思いをプラカードに書き、畑にさす
- 瀬川溪谷のガイドブックを大学の方と協力して制作中
(外国人向けの英語版も制作予定)
- 板仕野の地層の解説
板仕野の地層は、細かなさざれ石の塊が表面に出ており、他の地域ではめったに見られないものである。

○子どもたちへの思い

岡田さんは地域の子もたちに、「板仕野の地層はとてもきれいでみんなに見せてあげたい」、「山の楽しさを知ってもらいたい」など山の美しさを見せ、地域の自然を広く知ってほしい。この風景をみせて子どもたちに自然の美しさを知ってもらい、自然を大切にしてほしいという願い。そして、「地域の良さを知って、地域を愛する人になってほしい」という考えを持っています。

○ものしり博士の魅力(活用方法)

岡田さんは、瀬川溪谷の自然や板仕野の地層を通して、子どもたちが自然の大切さや美しさに気付き、地元を肯定的に見るきっかけとなる学習ができると考えています。岡田さんの学習は、写真を見せたり講義をしたりなどの座学だけで終わりません。実際に子どもたちにいろんな経験をしてもらいます。また、岡田さんが見せる板仕野の地層はとても珍しいものなので、子どもも大人も初めて見る景色に興味を持つことができると思います。

岡田さんから学べば、きっと、子どもたちは楽しく新しい地域の良さを知ることができるでしょう。



ハチ北スキー場の生みの親

西村 吉雄さん

ハチ北スキー場のことを一番知ってるよ！

こんなことをしているよ！

小中学校でハチ北スキー場

についての話をしているよ！

本もかいているよ。

村岡観光協会の顧問も

しているんだ！



西村さんがつくったハチ北スキー場だよ！
広くてスキーに適している形になっているのが特徴だよ！

ものしり博士からみんなへ

考えるだけでなくそれを行動にすることが大切！

いろいろな人に

ありがとうの気持ちをもとう！

声かけを大切にしよう！

まとめ

博士は小さいころから地元

スキー場をつくることを考えて

いたんだ。そして夢を実現しました！

この時のお話をしてくれるから

ぜひ聞きに行ってみてね！

【解説 ものしり博士】

西村吉雄さん

○ジャンル

自然・観光＝ハチ北スキー場の歴史

○プロフィール

- ・酒造りの修行
- ・リフト会社に入社（ここから本格的にスキー場開設へ）
- ・元村岡町観光協会理事、副会長、会長

○ものしり博士の活動

- ・地元の小・中・高の学校でハチ北スキー場についての話
- ・香美町村岡観光協会顧問

○ものしり博士の思い

子どもの頃、通学中この大雪をどうにかしたいと思い、雪を利用したハチ北スキー場をつくることを考えました。現在は香美町観光協会の顧問や村岡小学校などで授業も行っています。そこでどういう風にしてスキー場をつくっていったのか、そのときに苦労したことや努力したことなどをお話しています。特に驚いたエピソードはハチ北スキー場開設許可が必要な時に、その方の家で一晩中説得したことです。なにがなんでも成功させるという強い意志がハチ北スキー場開設の成功につながったと感じました。また、スキー場のお話だけでなく昔の雪の状況も詳しく知っておられます。例えば昔は、大雪が降り電柱の高さほど積もったこともあるそうです。ものしり博士はその他にたくさんの興味深いエピソードがあります。

○ものしり博士の魅力(活用方法)

西村さんにインタビューを行って、地元の昔ばなしやスキー場の開設に向けての取り組みを自身の経験をもとに楽しくお話していただきました。特にハチ北スキー場を開設するために協力が必要だった方に一晩中交渉をしたり、思い立ったことはすぐに取り掛かかったりとハチ北スキー場への強い信念と行動力がある方だと感じました。また人に対する思いやりや、何事にも感謝の心を持つ優しい方です。西村さんにお話しを聞くことで失敗を恐れないことや行動に移せば必ず形のある成果を得られ、改善につながることを学べると思います。そうすることは成功へ近づけるひとつの手段となり諦めない心にも通じてくると思います。だから子どもたちには将来の目標を達成するための気持ちの持ちようや、努力をすれば成功に結び付くことを学ぶことができるのではないのでしょうか。

連絡先

香美町村岡区大笹
☎ 0796-96-0009 (自宅)



とうきょう かみちょう
東京から香美町へ！
かみちょう しぜん
～香美町の自然にはまる～

きしもと ふみえ
岸本 文枝さん

こんなことをしているよ！

- しゅっしん とうきょう
・出身は東京
- しぜん かんさつ す
・自然観察が好き
- うわのわたし おし
→ 兎と野で私たちに教えてくれるよ！
- もり ひとり
・けびの森クラブの一人

「けびの森」の
フェイスブックを
見せてね！

はかせ
ものしり博士からみんなへ

- こころ ゆた いま す
☆心を豊かにして今住んでいる
- ところをわす
ところを忘れないでほしい
- あたま のこ
☆頭に残るようなことを
- たくさんしてほしい
- しよくぶつ おな
☆植物にもみんなと同じように
- なまえ
1つ1つ名前があるよ！

もり
ケビの森クラブって何してるの？

- しょうがくせい こうさく かんさつかい
・小学生と工作や観察会
- やま てい
・山の手入れ
- しょうがくせい かんきょう おし
・小学生に環境について教えているよ！



けびの森クラブの様子

【解説 ものしり博士】

岸本文枝さん

連絡先
香美町村岡区相岡
☎ 0796-95-0728

○ジャンル
自然＝香美町の植物

- プロフィール
 - ・東京出身で、結婚を機に香美町へ
 - ・「加藤文太郎の会」という登山家の方の会に参加し、山歩きをしたことで、自然についての知識を増やした
 - ・野外教育センターでインストラクターの研修を受ける
 - ・その後インストラクターとして小学生に自然について教える
 - ・「けびの森クラブ」の1人でもあり、クラブ通信を作成している

○ものしり博士の活動

- ・地元の小学生を対象に以下の活動を行っています。
 - ①工作や観察会
 - ②山の手入れ
 - ③自然学校での指導
 - ④小学生の環境学習
 年間4回程度小学校へ行き、小学生と一緒に様々な山での活動や観察を行っている

○子どもたちへの思い

将来地元に残るとしても、地元を離れるにしても、地元のことを知らないで育つより、目の前にある多くの自然の1つでもいいから知って、それを体験してほしいです。そして、心豊かにして、ふるさとを忘れないでほしいと思います。子どもたちに地元ならではの体験をたくさんしてもらい、心だけでなく、頭に残るようなことをたくさんしてほしいと思っています。ぜひ、「けびの森クラブ」の活動に参加してください！

○ものしり博士の活用方法

岸本さんは東京から香美町へ来られたので、都会から田舎へ移り住んで感じた面白いエピソードも交えながら、子どもたちに植物のことについて教えて下さいます。また、岸本さんはインストラクターとして自然学校で子どもたちに香美町の自然について教えています。自然学校では、植物の葉を使った天ぷら作りなどを体験でき、楽しく香美町の自然について学べると思います。このような自然について楽しく学ぶことを通して、子どもたちはその活動が印象強く頭に残り、大人になってもふるさとを忘れないような良い思い出として残ります。そして、その楽しかった思い出が強く記憶に残れば、今後香美町について学べる活動も続いていくと思うので、自分のふるさとを忘れず、そして心豊かな子どもたちが育っていきます。



カメムシしらべて13年!^{ねん}

なかむら やすこ
中村 康子さん

まいとし びき
毎年500匹はとっています!
おお びき
多いときは1000匹!!

こんなことをしているよ!

ものしり博士からみんなへ

- 地区のまつりを大事にしてほしい
- 地区のことをすきになってほしい
- 地区でんと、文化をもっとしてほしい

- つばめ、カマキリ、カメムシ、ムカデなどについてしらべているよ
- 家のベランダにいるカメムシをとっているよ
- そしてカメムシと雪のつながりをしらべているよ
- 博士は地域の伝承をしらべているんだ!



新聞にのったこともあるよ



カメムシのせつめいをしているよ

【解説 ものしり博士】

中村康子さん

連絡先

香美町村岡区宿
☎ 0796-96-1236

○ジャンル

自然・歴史=田舎伝説の追求

○プロフィール

- 村岡生まれ、村岡育ち
- 以前は小学校の教師

○ものしり博士の活動

- 宿のルーツ、祭神、生物について調べている
(カメムシ、ムカデ、ツバメ、カマキリ)
- 「カメムシ多い年は大雪はほんと?」という俗説の研究
- ラジオ関西出演

○ものしり博士の魅力

康子さんは元小学校教師なので、話がとても聴きやすいです。先生をされている時に、校舎の壁に大量のカメムシがいる年が大雪になることが多く、カメムシと雪の関係性を調べるようになりました。このように康子さんは探究心が強く、子どもたちが探究することの面白さや方法を学ぶきっかけとしてふさわしい人物だと考えます。また、エルニーニョ・ラニーニャ現象を研究と結びつけるなど、多面的に探究しているところも康子さんの魅力です。

○ものしり博士の活用方法

学校において、子どもたちが自ら探究する授業をする時に、導入として康子さんの話を聞くのはどうでしょうか。そうすることで、子どもたちは探究の仕方やまとめ方を学び、次回の授業から子どもたちが決めたテーマに沿った探究にスムーズに移行できます。

○子どもたちへの思い

康子さんはPTCAフォーラム(ふるさと教育の発表会)を計画するなどふるさと教育に対して積極的です。子どもたちには、地域行事を大切にしたいと考えています。また、地域の行事に参加したり、調べたりすることで地域のことが好きな子どもに育ってほしいと考えています。好きになることで、大学に進学した後に地元に戻ってくることを期待しています。

今廃れつつある地域の行事や伝統を、受け継いでほしいとも考えています。継承する人材を確保するために、地域のことが好きで、進学でほかの地域に行っても帰ってくるような子どもを育てることが大事だと考えています。



但馬牛はふるさとの誇り!! 毛戸 公彦さん

「和牛のふるさと」を
次世代に伝えたい!

こんなことをしているよ!

- ・小代で最初のお肉屋さん
- ・小中学生に「但馬牛の歴史」や「神戸ビーフ」の紹介をしているよ
公民館でもやっています
- ・イベントで但馬牛の丸焼きをしているよ
- ・観光ガイドもやっています
- ・村岡高校で「スピーチ」を教えています
(元ミュージカル劇団員)

ものしり博士からみんなへ

・但馬牛は世界に誇れます!

どこにいても、ふるさとを誇りに
思ってください。

・命の大切さ、生き物すべてに感謝

の気持ちをもってほしいな。

・自分で決めたことは、とことんやり
続けてください。

そして楽しんでください!



【解説 ものしり博士】

毛戸公彦さん

○ジャンル
食育＝但馬牛の歴史

○プロフィール
・小代で一番最初に精肉店を経営
・現在は株式会社上田畜産の牛匠の職人
・元ミュージカル劇団員

○ものしり博士の活動
・主に地元の公民館や小中学生対象に
「但馬牛の歴史」や「神戸ビーフ」の紹介をしている
・但馬牛の丸焼き
・小代ガイドクラブで観光ガイドをしている
・村岡高校で「スピーチ」の授業のアドバイザーを務める

○ものしり博士の思い
「小代は和牛のふるさとだということ」を地元の人はもちろん、他地域・他県の人に伝えたいと思い、ものしり博士になりました。但馬牛は世界に誇れるほどのいい牛。どこにいてもどんなときでも、このふるさとに誇りを持ってほしいです。そして、命の大切さを知り、生き物すべてに感謝の気持ちを持ってほしいです。また、自分でやると決めたことはとことんやり続けて楽しんでほしいと思います。

○ものしり博士の魅力(活用方法)

但馬牛の深い歴史を知ることができます。例えば、昔は農耕や牛車などに使われていたということだけでなく、窮地を救った「奇跡の四頭」と呼ばれる牛についてや、「前田周助さん」「田尻松蔵さん」の存在がなかったら今の但馬牛は生きていなかったかもしれないということを語っていただけます。

その四頭の子孫である「田尻号」の血が、現在の国内黒毛和牛の99.9%に入っている、世界に誇れる牛だということがわかります。また、牛には「おとなしい牛」「病気になりにくい賢い牛」「よく働く牛」「健康な子牛を産むメス牛」などいろんな牛が存在します。このような、なかなか知ることのできない但馬牛の知識を学ぶことができます。自分の住むふるさとに「こんなにも誇れるものがある」ということに気づくことができ、生き物を食べて自分たちは生きているということや生き物すべてに感謝の気持ちを持つことを学ぶこともできます。

連絡先

香美町小代区神水
☎ 0796-97-2897



ながす わし みりょく はっしん 長須和紙の魅力発信へ！

ほんだ あいか
本多 秋香さん

かみ たいけん
紙すき体験ではオリジナルの
いちまい つく
一枚を作れます
たいけん
ぜひ体験してみてください

こんなことをしているよ！

ながす わし わし
長須和紙という和紙をつくっているよ
ながす わし いちど
長須和紙は一度なくなっていて
はかせ べんきょう ふつかつ
博士が勉強して復活させたよ！
むらこうせい
村高生といっしょに
わし みりょく かんが
和紙の魅力を考えられています
ながす わし れきしがた
長須和紙の歴史語りもしています
わし さくひん
和紙をつかった作品をつくっています

はかせ ものしり博士からみんなへ

そうぞうりょく ゆた ひと
想像力が豊かな人になってほしい
きょうみ おも じぶん
興味に思ったことを自分で
しら べんきょう ちから
調べて勉強する力をつけてほしい
きょうみ きがる
興味があれば気軽に
たいけん き
体験しに来てください



ながす わし え とうろう
長須和紙でつくった絵ハガキと灯籠



しょうがくせい むらこうせい わし たいけん
小学生と村高生の和紙体験

【解説 ものしり博士】

本多秋香さん

○ジャンル
伝統・歴史＝射添和紙の復活

○プロフィール
・香美町地域おこし協力隊として香美町へ
・任期終了後も香美町に在住
・田舎暮らしが大好き ・狩猟の免許を持っている

○ものしり博士の活動
・村岡区長須地区で紙すき体験 ・長須和紙の歴史語り
・和紙で村岡ダブルフルウルトラランニングの賞状製作
・村岡高校と合同で長須和紙の魅力発信を研究

○ものしり博士の思い
紙すきを勉強して気がついた事は、「紙すき」は単なる「仕事」ではなく、様々な仕事・技術・日常の暮らし・身近にある資源が関わり、自然に寄り添って行われる「里の暮らし」の一部だ、という事です。例えば、紙すきで使う道具の一部は竹を使っていますが、竹の知識や竹ひごをつくる技術は農具や生活用具を作ることともつながります。薪でごはんを炊いたり、お湯を沸かしてできる「灰」は紙の原料を加工する時にも使いますし、田畑に混ぜ込んだり、洗い物にも利用できる「優れモノ」です。自然に寄り添うというのは、今では冷凍庫や薬品など便利なモノがあり年中紙すきができますが、本来は冬の仕事で、冬の環境・土地柄の条件にあわせて行うという事です。大事な事は、紙すきのために特別に作られたりすることもあります。もともとある「竹を扱う技術」「灰」「自然の環境」「資源を活かす」などから、それらに合わせて紙すきできたという事と、里には区切られない職業＝暮らしがあるという事だと思っています。

○子どもたちに伝えたいこと
自分がやりたいと思っている事です。
①今チャレンジしていること（遊びも勉強も）は自分の将来に関係ないように見えても、積み重なって形を変えてつながると思います。②自分が行うこと、選択することは自分や身近な人たちだけに関係するのではなく、世界の裏の人まで、また自然・環境すべてにつながっているということ想像できる気持ちのゆとりを持ってほしいです。③ある事柄（ニュースや情報）について鵜呑みにするのではなく、多面的に考える（それは本当？他の人はどう考える？など色々と想像する）事を意識しておきたいです。今は「正解」と思っていることでも、自分の考えや世の中が変わったりして違う答えになることもあります。だから後悔しないよう、責任を持てるようしっかり自分で考えて、選択・行動をしたいです。

連絡先

香美町村岡区長須
☎ 0796-80-1207
web「紙処ながす」



こだい おじろ たいけん
古代の小代を体験しよう！

いのうえ かつみ
井上 克己さん

こだい もりたろう
古代森太郎と
よんでほしいな！

はかせ
ものしり博士からみんなへ

おじろ す かみちよう
小代に住んでいること、香美町に
住んでいることをみんなにじまんしてほしいな。

おじろ
むかしの小代のことでわからない
ことや聞きたいことがあったらきてね。



たかゆかしき そうこ むかし
高床式倉庫 昔のたてものもあるよ



まいとし がつ
毎年9月にはぎまつりがあるよ



こだいしょく
いろりをかこんで古代食
むかし
(昔のたべもの)をたべるよ

こんなことをしているよ！

いのうえ おじろ こだい たいけん
井上さんは、小代にある古代体験
の森ではたらいているよ。

そこでは、まがたまのつくりかたや、
むかし
昔のたべものについて
おし
教えてくれるよ！

【解説 ものしり博士】

井上克己さん(古代森太郎)

○ジャンル

歴史＝小代の歴史、火おこし体験
勾玉づくり、昔の暮らし

○プロフィール

- ・小代生まれ、小代育ち
- ・以前は役場の職員
- ・現在は小代区広井にある古代体験の森で活動

○ものしり博士の活動

- ・古代体験の森で「古代森太郎」として活動
- ・勾玉づくり、土器づくり、火起こし、草木染、赤米、黒米といった古代食の試食などの体験のサポート
- ・2,000年前の竪穴式住居の柱の跡、復元された茅葺、7,000年ほど前から住んでいる小代の先祖の眠るお墓の案内

○ものしり博士が力を入れていること

井上さんが力を入れているのは、古代の暮らしを体験した後に行う紙芝居です。この紙芝居は、「田尻くんと田尻さん」「日本で最も美しい村、小代」「牛飼い坊主の前田周助さん」の3本立てで行います。どの紙芝居も、いまの小代の生活につながるおもしろい内容になっています。

○子どもたちに伝えたいこと

小代に住んでいること、香美町に住んでいることに誇りを持ってほしいです。今でいう但馬牛のもとになったのは小代牛であり、神戸牛、松坂牛の元祖になります。これは、素晴らしいことであり、誇るべきことです。井上さんは古代森太郎として、この牛の話を、小学校や中学校に通う子どもたちに古代の話を交えながらぜひ、話してあげたいと思っています。古代の小代について、「何を食べていたのか」「どうやって暮らしていたのか」疑問に思うことや、知りたいことがあれば、森太郎に聞いてください。わかりやすく、丁寧に答えます。何よりもまずは、小代には古代体験の森があり、そこには、古代森太郎というちょっと変わっているけどおもしろいおじさんがいるということを知ってほしい、そして、忘れないでほしい、という思いがあります。ぜひ、小代古代体験の森に来てください。

連絡先

小代古代体験の森
(香美町小代区広井)
☎ 0796-97-3966
(小代区地域連携センター)



身近な川にすむ水生昆虫を調べよう

- 香美町を流れる身近な川について、3つの流域の水生昆虫を実地調査します。
- 流域別で生態系を比較しながら、生き物への理解を深めていきます。
- 生態系と水質のつながりを考えることで、郷土の川への興味や愛着を育みます。

《水生昆虫を採集しよう》



- 村岡高校生が見守るなか、まず身近な川の中流で水生昆虫を採集します。その後、上流・下流を調査することで、徐々に視点を広げていきます。
- こどもたちは、ヘビトンボやヒゲナガトビケラなど、大型の昆虫を見つけていきます。しかし、同じ種でもステージが異なると大きさも異なるため、こどもたちには別の種類に思えます。
- 水に入ること、水の冷たさや夏場の心地よさを感じ取ります。キタガミトビケラが採取される上流では、水温の低さが美感されます。
- その他、ヒルやミミズ、サワガニやアメンボなどを採取しているこどももいます。

《よく観察して、分類しよう》



- 学校の理科室に場所を移して、ルーペや顕微鏡を使いながら、採集した昆虫をカワゲラ、トビケラ、カゲロウのなかまに大別していきます。そこから細かい特徴を見て、種類を特定していきます。
- 事前学習を受けた村岡高校生が、種類の見分け方をサポートします。しかし、なかには何の昆虫が分からないものが含まれていることもあります。そんな時は、西田さんが助けてくれます。
- 調査して分かったことを発表し合い、流域別で生態系が異なることなどを確認します。
- また、例年採取される水生昆虫の紹介を通して、「きれいな川」、「少し汚れた川」を感じ取ります。

- ☺ 「思っていたよりもたくさん昆虫がいて驚いた!!!」
- ☺ 「川の生き物のつながりをもっと知りたかったと思った」
- ☺ 「自分の家の近くの川でも同じように調査をして、昆虫を比べたいと思った」

受講したこどもたちの声

【身近な川紹介】矢田川(香美町全域)

上流部は氷ノ山後山那岐山国定公園、下流部は山陰海岸国立公園に指定された、自然豊かな河川です。河川延長約38kmの流域の大半を香美町がしめています。アユ釣りでは日本有数の川とされています。魚類の貴重種として、イワナ、ヤマメなども確認されています。

兵庫県(2012)「矢田川水系河川整備計画」、香美町村岡観光協会ホームページ参照



伝統的な紙すきで射添紙をつくろう

- 伝統的な紙すきの方法を用いて、香美町の特産品であった射添紙をつくります。
- 作成した紙は絵葉書として販売するなどして、地元の伝統産業へ理解を深めます。
- 伝統文化の活性化を通じて地域を盛り上げる人の存在を知る機会にもなります。

《射添紙について知ろう》



- 事前学習として、社会科の「伝統産業」の授業などのなかで、香美町の特産品としての射添紙について学んでおきます。
- 本多さんより、和紙の歴史や特性、紙すきの方法についての解説を受けます。村岡高校生も、個別の質問に答えたりしてサポートします。
- 村岡高校では、地域の伝統文化を扱う授業科目のなかで、コウゾの木を育てる所からはじめて、和紙づくりを学んでいます。そのため、本多さんのアシスタント・ティーチャーを務められるのです。
- 葉などを和紙に直接入れ込んで絵葉書をつくるため、紙すきに移る前に絵柄を決めておきます。

《紙すきで絵葉書をつくろう》



- 本多さんの工房で、こどもと村岡高校生がペアになり、紙すきを体験します。
- 高校生自身、何度も失敗しながら練習を重ねて紙すきができるようになっていきます。そのため、適切に紙すきのコツを教えることができます。
- 紙すきの活動後、本多さん、長須地区の住民の方より、射添紙に対する思いや願いを聞きます。また、ランプシェードなど射添紙を活用した様々な工芸品を鑑賞します。
- 作成した絵葉書は、郵便局やネットで販売したり、ふれあい郵便で暑中見舞いや年賀状として送ったりします。達成感を得るとともに、和紙づくりの産業としての一面を感じる経験にもなります。

- ☺ 「だんだんと紙になってきて、和紙はすごいなあと思いました」
- ☺ 「結構難しかったけど、上手にできて嬉しかったです」
- ☺ 「ていねいに教えてくれて、とても楽しくできました(高校生への手紙より)」

受講したこどもたちの声

【伝統産業の紹介】射添紙(長須地区)

香美町の長須地区では、約60年前、地場産業として「和紙づくり」が盛んに行われていました。当時、生産されていた和紙は「射添紙」と呼ばれ、障子紙などに用いられていました。現在はコミュニティのツールとして復活し、香美町の伝統文化として見直されています。

但馬県民局地域政策室協働推進課ホームページ「YUME TAJIMA」参照



但馬牛の過去・現在を知り 未来を考えよう

- 地元の畜産業が全国に与える影響や品質の良さを知り、その価値に気が付きます。
- 但馬牛が継承されてきた経緯を学び、地元を支えている人々の存在を理解します。
- 世界に発信する方法を考えながら、未来志向でふるさとの誇りを捉えてきます。

《但馬牛について学ぼう》



● 導入として、村岡高校生が、スライドを活用しながら但馬牛の歴史について紹介します。途中でクイズをはさむなどして、どのこどもも関心を持てるように工夫しながらトークを行います。

● こどもたちにとって、村岡高校生は地元の先輩であり、教員よりも自分と年齢が近く、話の仕方も親しみが持ちやすい存在です。新鮮かつ楽しい雰囲気の中で授業が進んでいきます。

● その後、毛戸さんより但馬牛の肉質について解説を受けます。最高肉とされる神戸ビーフは全て但馬牛肉であること、格付けによって神戸ビーフと但馬牛肉に分かれる話などを聞き、地元の畜産物が持つ価値について理解を深めます。

《但馬牛のアピールを考えよう》



● 毛戸さんより、但馬牛の品質の良さをさらにアピールする必要性を聞いた上で、世界に売り出すキャッチコピーを考えるワークショップを行います。村岡高校生が加わったグループで活動します。

● 付箋に但馬牛の特徴や良さをキーワードとして書き出し、それらをつなぎ合わせたりしながら、グループでアイデアをまとめていきます。

● グループで考えたキャッチフレーズの発表を行い、全員で最も良いものを選びます。

● 肉質の良さを知るには、食べることが最も良い方法です。最後に、家庭科室で、毛戸さんより提供していただいた但馬牛を試食します。肉の味やにおいを感じ取ることも大切な経験です。

【特産品の紹介】但馬牛(小代地区)

全国で飼育されている黒毛和種の繁殖雌牛のほぼ全てに但馬牛の血が流れています。小代の地理的環境がもたらした閉鎖育種と、前田周助氏や田尻松蔵氏といった地元の畜産家の努力により、外国種が混じらない優良国産牛が生まれ、今に受け継がれてきました。

◎ 「奇跡の四頭のお話を聞かせていただき、その四頭が田尻号の血をつなげていったことに感動しました」

◎ 「僕は農耕や牛の車、「牛車」が使われていたことしか知りませんでした。たくさん教えてもらいました」

受講したこどもたちの声

兵庫県立村岡高等学校第56期
地域アウトドアスポーツ類型地域創造系



はじめに、『香美町ふるさとのしり博士ガイドブック』を作成するにあたって、香美町のものしり博士の方々をはじめ、出版に携わっていただいた方々に厚くお礼申し上げます。

このガイドブックは、「ふるさとに学び、夢や志を抱き、ふるさとを大切に人づくり」を目的とする「ふるさと教育」に地域人材を活用し、体験プログラムを作成した参考資料となっております。学校で行うふるさと教育の授業に導入するのはもちろん、ガイドブックを見て疑問に思えばものしり博士に自らお話を聞くこともでき幅広く活用できるのではないかと考えています。

今後、私たちの作成したガイドブックを「ふるさと教育」に活用していただき、ふるさとに対する愛着や誇りを培うと共に、地域コミュニティの発展につながれば幸いです。そして、これを機に地域に対する興味・関心や大切な故郷として認識する方が増えていくことを願っています。

鳥取大学地域学部人間形成コース講師 武田信吾

本冊子を作成するにあたり、「ふるさとのしり博士」の皆様をはじめ、多くの香美町の方々に関わっていただきました。村岡高校の生徒達による精力的な活動について、こうして1つの形としてまとめることができたのも、ひとえに皆様のご支援とご協力の賜物と心得ます。

今後の学校教育は、地域資源を有効に活用しながら、広く社会と連携・協働して子どもの資質・能力を育ていく「社会に開かれた教育課程」が推進されていきます。一方で香美町内には、地域で子どもを育てる潜在的な力が今もしっかりと受け継がれています。その力が学校教育のなかで発揮されていく所に、「ふるさとのしり博士」の活躍が期待されているのだと思います。またそれは、香美町そのものの魅力へとつながっていくことでしょう。

村岡高校の生徒達は、近い将来に1人の大人として、地域社会に出て行くこととなります。今度は自分たちが、地域の子供達に対して、ふるさとのことについて語る立場になります。その際は、今回のフィールド調査や小学校での授業実践のなかで、フォーマルな場において「ふるさと教育」に携わった経験により、地域の未来を見据えた俯瞰的な見方・考え方に基づいて行動してくれることを願っています。

